

信州大学医学部附属病院 呼吸器・感染症・アレルギー内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

平成 28 年 3 月 15 日

「気腫合併肺線維症および特発性肺線維症の急性増悪」に関する臨床研究(後ろ向き観察研究)を実施しております。

信州大学医学部医倫理審査委員会の審査による医学部長の承認を得て、調査を行っています。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	
課題名	気腫合併肺線維症の急性増悪の検討 ～特発性肺線維症の急性増悪と比較して～
研究機関	信州大学医学部附属病院 呼吸器・感染症・アレルギー内科
研究責任者	信州大学医学部附属病院 呼吸器・感染症・アレルギー内科 講師 牛木淳人
研究実施期間	平成 28 年 3 月 8 日～平成 29 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	<p>特発性肺線維症は経年的に肺が硬くなり、咳嗽や呼吸困難などが出現する原因不明の疾患です。中高年の男性に多く発症し、5年生存率 20-30%程度と予後不良な疾患です。また全身麻酔や気管支鏡検査などを誘因とし、急速に呼吸状態が悪化する致死的な急性増悪を発症することもあります。</p> <p>気腫合併肺線維症は胸部 CT で肺気腫と肺線維症という異なる機序の肺の構造破壊が混在する疾患です。本疾患も特発性肺線維症と同様に緩徐進行性の疾患であるが、時々急性増悪を発症します。しかし詳細な病態や治療方法は判明していません。</p> <p>本研究では特発性肺線維症の急性増悪と気腫合併肺線維症の急性増悪の類似点、相違点などを比較することにより、気腫合併肺線維症の急性増悪の病態を明らかにします。</p>
対象患者様	平成 15 年 6 月 1 日～平成 27 年 8 月 31 日の期間に特発性肺線維症の急性増悪および気腫合併肺線維症の急性増悪で入院された方
利用カルテ情報	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、治療内容、予後など

既存の検体と診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へお名前や個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご

不明な点については、下記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

ご自分の診療記録等の利用をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることはありません。上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問い合わせ先: 信州大学医学部附属病院

担当者 呼吸器・感染症・アレルギー内科 牛木淳人

(電話: 0263-37-2631)